

韓国環境部プレスリリース 2020 年 1 月 17 日付

京畿道および江原道の野生いのしし弊死体から ASF ウイルス 7 件検出（野生いのしし 75-81 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1189620&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は京畿道（キョンギド）坡州市（パジュシ）、江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョンゲン）および鉄原郡（チョルウォンゲン）広域フェンス内で発見された 7 個体*の野生いのしし死体で ASF ウイルスが検出されたと 1 月 16 日明らかにした。

*坡州 3 個体、華川 2 個体、鉄原 2 個体

坡州市（パジュシ）津東面（チンドンミョン）の死体は 1 月 14 日、1 次フェンス設置中のフェンス設置業者によって農水路で発見され、長湍面（チャンダンミョン）および郡内面（クネネミョン）の死体 2 件は同日、それぞれ国立生物資源観調査員および農業従事者によって山で発見された。また、華川郡（ファチョンゲン）華川邑（ファチョンウプ）の死体 2 件は 1 月 14 日、近隣地域で死体捜索中だった環境部捜索チームおよび国立生物資源館調査員によって山で発見され、鉄原郡（チョルウォンゲン）葛末邑（カルマルウプ）の死体 2 件は 1 月 15 日、住民によって山で発見された。

坡州市（パジュシ）、華川郡（ファチョンゲン）および鉄原郡（チョルウォンゲン）は ASF 標準行動指針(SOP)により試料採取後、防疫措置とともに死体を埋却処理した。

国立環境科学院は 1 月 16 日、死体から ASF ウイルスが検出されたことを関係機関に通知した。これで 1 月 16 日までに坡州市（パジュシ）は合計 27 件、華川郡（ファチョンゲン）は合計 7 件、鉄原郡（チョルウォンゲン）は合計 19 件の野生いのしし ASF 陽性事例となり、全国的には 81 件になった。

国立環境科学院生物安全研究チーム長は"今回の死体は全て広域フェンスの中で発見された。この地域では感染した死体がさらに出てくる可能性があるため、死体捜索を強化する”と話した。

以上